

特集：今あらためてFIDIC 一創立100周年を機に

紛争裁定委員会 Dispute Board と Adjudicator

アジュディケーター委員会

ディスピュートボードとアジュディケーター

建設工事は長期間にわたることから、契約当事者(主に請負者)からのクレーム申請や、紛争が起こりやすいという特性を有しています。FIDIC 契約約款 1987年版では、「the Engineer」が中立な立場で、発注者及び請負者間のクレームや紛争に対応し解決を図ってきました。しかし、the Engineer は発注者と契約関係にあるため透明性や中立性を完全に担保することが時として困難であるという意見があり、1999年に改定発行されたFIDIC 契約約款、通称 Red Book, Yellow Book, Silver Bookの「第20条 クレーム、紛争、仲裁」において、紛争裁定委員会(ディスピュートボード、Dispute Board, DB)が規定されました。

この、ディスピュートボードを構成するメンバーのことを、裁定人(アジュディケーター、Adjudicator)といいます。

ディスピュートボードは通常3人のアジュディケーターで構成され、発注者と施工者が1名ずつを指名し、指名

された2名が3人目を選定します。ディスピュートボードは工事契約後すぐに設置され、3人のアジュディケーターは契約書や工程表、図面、当事者からの報告などからプロジェクトを熟知し、3～4ヶ月に1回程度、現場に出向き、プロジェクトの進捗状況をチェックします。問題になりそうな状況があれば、仲裁に発展する前の現場レベルで対処し、紛争を未然に防いだり、早期に解決することで、仲裁費用の削減や工事遅延を最小限に抑えるメリットが期待されます。

■ FIDIC President's List

FIDIC は、契約約款 1999年版にアジュディケーターを導入後、3年に1回程度の頻度でアジュディケーターの試験・審査を実施し、合格者を President's List of Approved Dispute Adjudicators (President's List)としてホームページで公開しています。(http://fidic.org/node/805) 2013年5月現在、President's Listには62名のアジュディケーターが登録されています。

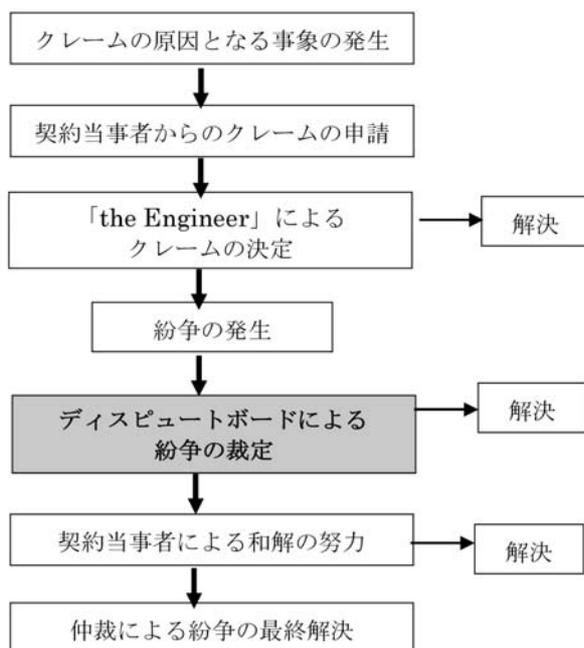
President's Listには、日本人で唯一、AJCE会員でもある大本俊彦氏も登録されています。大本氏は、FIDIC アジュディケーター試験審査の審査員 (Assessment Panel of Adjudicators, APA)も務められています。

■ National List

アジュディケーターの需要増大が予想されることから、FIDIC は President's Listに加え、FIDIC 加盟協会が独自にアジュディケーターを輩出し National List を作成することを推奨しています。

2013年5月現在、National Listを保有する国は下記6カ国に上ります。

日本、ドイツ、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、フランス



FIDIC 契約約款におけるクレーム・紛争の解決プロセス

■ AJCE List

AJCE もアジアの先駆けとなるべくアジュディケーター AJCE リスト作成に向けて、準備を進めてきました。

2010 年 12 月に、独立行政法人国際協力機構 (JICA) の委託をうけて開発したアジュディケーター候補者の為の研修教材「アジュディケータートレーニングキット」の有効性を検証することを目的として、東京でトレーニングワークショップとアセスメントワークショップを開催しました。アセスメントワークショップとは、アジュディケーターとしての適性を評価するもので、筆記試験、口頭試問、現場訪問の議題作成、仮説シナリオに基づく紛争裁定のドラフト作成など、とてもハードな内容です。



このワークショップの合格者を対象に、2011 年 5 月より AJCE List を公開しました。

2013 年 5 月現在、AJCE List には日本人アジュディケーター 7 名が登録されています。

■ ディスピュートボード普及の取組み

インフラプロジェクトへのディスピュートボードの導入は、多くの便益や効果がありますが、未だ契約関係者への理解が不十分で、コスト負担に対する抵抗感は依然

The screenshot shows the AJCE website interface. At the top, there is a header with the AJCE logo and the text 'Association of Japanese Consulting Engineers'. Below the header, there are several images showing construction sites and a map of Japan. The main content area is titled 'AJCE List of Adjudicators' and contains a disclaimer and a list of adjudicators. The list includes names like Oba Kunihisa, Kato Takeshi, and others. The website also features a navigation menu on the left with various categories like 'About AJCE', 'Message from the President', 'Organization', etc.

として根強く、啓蒙活動を継続する必要があります。

また、アジア地域内におけるアジュディケーターが少ないことも普及に向けた課題となっています。

AJCE は JICA の委託を受け、2008 年～ 2012 年の 5 ヶ年にわたり、アジュディケーター導入・普及のための調査を実施し、前述の「アジュディケータートレーニングキット」の開発やアジア各国で普及セミナーを開催しています。

■ おわりに

JICA は土木工事標準入札書類を 2009 年 6 月改定し、この時ディスピュートボードを導入しました。その後、他の入札書類にもディスピュートボードを導入し、現在 JICA の入札書類において、ディスピュートボードは紛争解決の標準的な手段となっています。

AJCE は引き続き、FIDIC や JICA などの関係機関と協力し、ディスピュートボードの普及に努めてまいります。

また、会員企業は国際プロジェクトで「契約書を作る」また「契約を管理する」立場にあり、これら業務においてディスピュートボードが確実に設置され有効に機能するように行動すべきことは論を待ちません。